

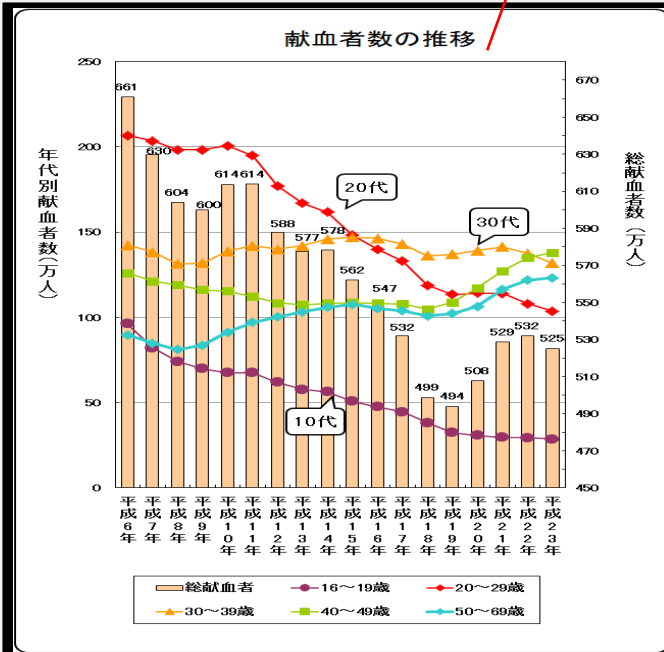
保健室だより

平成 25 年 3 月発行
大正大学 保健室

今月は、『献血』について特集します。科学や医療技術の進歩した今日でも、血液を人工的につくることはできません。輸血に用いられる血液製剤については、すべて国内の献血によって賄われています。献血とは、輸血を必要とする患者さんの為に、一人ひとりの善意に基づき、自発的に無償で血液を提供する行為です。その血液は、病気や治療目的に合わせて、輸血用血液製剤や血漿分画製剤（けっしょうぶんかくせいざい）に加工されて治療に使われます。

● 献血者数の推移

若い世代の献血への協力が重要です！



平成 21 年度は、全国で 1 年間に約 **529 万人** (述べ数) が献血をしています。近年の少子高齢社会の進展などの影響によって、今後ますます血液製剤の需要は増加していくことが予想されます。その一方で、若い年代の献血離れ等を背景に、将来、血液製剤が不足することが懸念されています。

出典：厚生労働省 HP

● 輸血の使用状況

輸血というと、交通事故など不慮の事故でけがを負った場合に使われるイメージがありますが、実際の輸血の使用状況をみると、そうしたけがの治療で使われているのは 3% 程度で、**9 割近くは病気の治療**で使われています。病気のうち、半数を占めているのが、**がんの治療**です。また、がん以外にも、胃潰瘍や大動脈瘤等の出血性疾患、白血病等の血液疾患、肝硬変、その他の代謝障害の治療にも、血液製剤が使われており、血液製剤は病気の治療に欠かせない重要なものになっています。

● 健康な人が身近にできるボランティア



献血は、地域毎に運行している献血バスや血液センター・献血ルーム等の常設の施設で受付けています。献血にあたっては、献血者の健康を守り、輸血を受ける人の安全性を確保するために、**採血基準や献血制限**を設けており、採血前には、問診や血圧測定等で健康状態をチェックしています。献血に要する時間は、**全血献血では 10~15 分、成分献血では 40~90 分**です。

本学にも、春・秋・冬の時期に献血バスが来校します。毎年、全学健康診断を受診し、体調管理をして献血に協力しましょう！！

● 献血方法別の採血基準 (平成 23 年 4 月 1 日施行)

平成 23 年 4 月 1 日から、採血基準の改正が施行され、より多くの方が献血に協力できるようになりました。詳細は、厚生労働省のホームページ「**新旧対照表**」をご覧ください。

現在の採血基準 (平成 23 年 3 月 31 日まで)

項目	全血献血		成分献血	
	200ml 献血	400ml 献血	血漿	血小板
1 回採血量	200ml	400ml	300ml~600ml (体重量別)	400ml 以下
年齢	注) 16 歳~69 歳	注) 18 歳~69 歳	注) 18 歳~69 歳	注) 18 歳~54 歳
体重	男性 45kg 以上 女性 40kg 以上	男女とも 50kg 以上	男性 45kg 以上 女性 40kg 以上	
最高血圧	90mmHg 以上			
血液比重等	血液比重 1.052 以上 又は 血色素量 12g/dl 以上	血液比重 1.053 以上 又は 血色素量 12.5g/dl 以上	血液比重 1.052 以上 又は 血色素量 12g/dl 以上	血液比重 1.052 以上 又は 血色素量 12g/dl 以上
血小板数	-	-	-	15 万/μ 以上 60 万/μ 以下
年間採血回数	男性 6 回以内 女性 4 回以内	男性 3 回以内 女性 2 回以内	血小板成分献血 1 回を 2 回分に換算して 血漿成分献血と合計で 24 回以内	
年間総採血量	200ml 献血と 400ml 献血を合わせて 男性 1,200ml 以内、女性 800ml 以内		-	-

注) 65 歳から 69 歳までの方は、60 歳から 64 歳までに献血の経験がある方に限られます。

新しい採血基準 (平成 23 年 4 月 1 日から)

項目	全血献血		成分献血	
	200ml 献血	400ml 献血	血漿	血小板
1 回採血量	200ml	400ml	300ml~600ml (体重量別)	400ml 以下
年齢	注) 16 歳~69 歳	注) 男性 17 歳~69 歳 女性 18 歳~69 歳	注) 18 歳~69 歳	注) 男性 18 歳~69 歳 女性 18 歳~64 歳
体重	男性 45kg 以上 女性 40kg 以上	男女とも 50kg 以上	男性 45kg 以上 女性 40kg 以上	
最高血圧	90mmHg 以上			
血色素量	血色素量 男性 12.5g/dl 以上 女性 12g/dl 以上	血色素量 男性 13g/dl 以上 女性 12.5g/dl 以上	血色素量 12g/dl 以上 <small>(血小板成分献血 1 回を 2 回分に換算して 血漿成分献血と合計で 24 回以内)</small>	血色素量 12g/dl 以上
血小板数	-	-	-	15 万/μ 以上 60 万/μ 以下
年間採血回数	男性 6 回以内 女性 4 回以内	男性 3 回以内 女性 2 回以内	血小板成分献血 1 回を 2 回分に換算して 血漿成分献血と合計で 24 回以内	
年間総採血量	200ml 献血と 400ml 献血を合わせて 男性 1,200ml 以内、女性 800ml 以内		-	-

注) 65 歳から 69 歳までの方は、60 歳から 64 歳までに献血の経験がある方に限られます。

● 全学健康診断について

全学健康診断は、「**学校保健安全法**」に基づいて、全学年を対象に年 1 回実施しています。本来の目的は、生活習慣病の予防と、病気の早期発見です。自分の健康を把握する為、また結核等の集団感染を予防する為に、必ず全員受診しましょう。日程等の詳細は、本学のホームページまたは、「**ガイダンス資料**」でご確認ください。尚、**健康診断を受けていない場合は、「健康診断証明書」の発行ができませんのでご注意ください。**

出典：厚生労働省 HP